2-059-331-**01** (2)

液晶テレビ用
フロアスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このフロアスタンドは、ソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。

指定機器（2004年8月現在）

液晶カラーテレビ	KLV-20SP2/KLV-20AP2
ワイヤレス液晶カラーテレビ	KLV-20WS2

SU-FS200

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転落・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下により死亡や大けがの原因となります。

組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる

ネジが緩んでいたり抜けていると、フロアスタンドが歪み、テレビが転倒してけがの原因となることがあります。また、組み立てるときに指を挟まないよう注意してください。

注意

指定機器以外の物を取り付けない

このフロアスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

禁止

フロアスタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

フロアスタンドが転倒して、けがの原因となることがあります。

禁止

フロアスタンドにテレビを取り付けた状態で、ぶら下がらない

フロアスタンドが転倒したり、テレビが落下して、大けが、死亡などの原因となることがあります。

禁止

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、フロアスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。フロアスタンドを移動しないときは、すべての足にキャスター皿を敷いてください。

注意

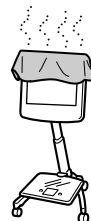
堅くて平坦な床面に設置する

傾いた床面や、段差のある床面に設置するとフロアスタンドが転倒したり、テレビが落下してけがの原因となることがあります。畳、じゅうたん、カーペットなどの上に設置するときは、すべての足にキャスター皿を敷いてください。

禁止

テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布をかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

踏み台にしたり、腰かけたりしない

倒れたり、落ちたり、ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

テレビの電源コードおよび接続ケーブルを挟まないようにする

禁止

- テレビをフロアスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルを挟みこまないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。
- フロアスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを引っ掛けたり、踏まないようにする。電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。

過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

ガラスが割れたりして、けがの原因となることがあります。また、フロアスタンドを傷める原因となることがあります。

禁止

フロアスタンドを動かすときのご注意

注意

- 移動するとき、障害物があるとフロアスタンドが転倒してけがや破損の原因となることがあります。
- 毛の長いカーペットやじゅうたんの上を移動するときは、毛を巻き込んでフロアスタンドが転倒してけがや破損の原因となることがあります。
- 移動するときは、電源コードを抜いてください。コードを差したまま移動すると、フロアスタンドが転倒してけがや破損の原因となることがあります。
- 移動するときは、キャスター皿をはずしてください。キャスター皿を敷いたまま移動すると、フロアスタンドが転倒してけがや破損の原因となることがあります。
- 移動するときは、フロアスタンドに大きな振動や衝撃を与えないでください。フロアスタンド内部が損傷して感電や破損の原因となることがあります。

分解や改造をしない

裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げの店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

禁止

設置上のご注意

設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはフロアスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。

注意

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合はキャスター皿を敷く。
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない。
- 高温多湿の場所や屋外に置かない。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特に注意してください。

禁止

本製品を日本国外で使わない

交流 100V の電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

消費電力が合計 150W を超える電化製品をつながない

コンセントに、消費電力が合計 150W を超える電化製品をつなぐと、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む

フロアスタンドのコンセントに、テレビなどの電源コードを差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。ゆるみがあると火災の原因となることがあります。

注意

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

テレビを固定する

テレビに付属のネジでテレビをフロアスタンドに固定してください。固定しないと、フロアスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

体重をかけたり、硬いものをぶつけない

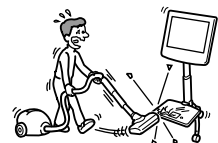
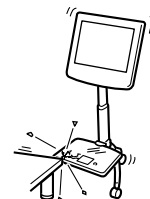
テレビを取り付けるときに、フロアスタンドに手をついて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶつけたりしないように注意してください。ガラスが割れたりしてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

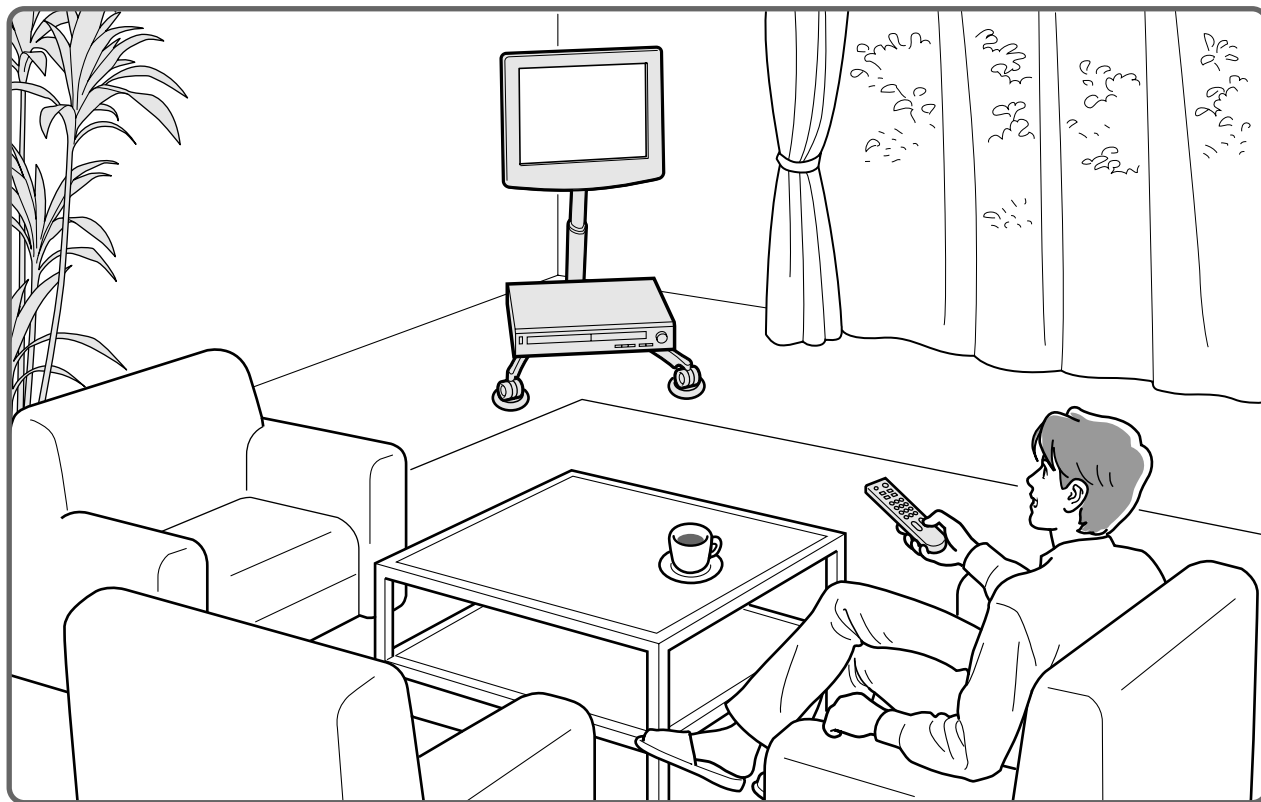
フロアスタンドに接続するコード類は、足をひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

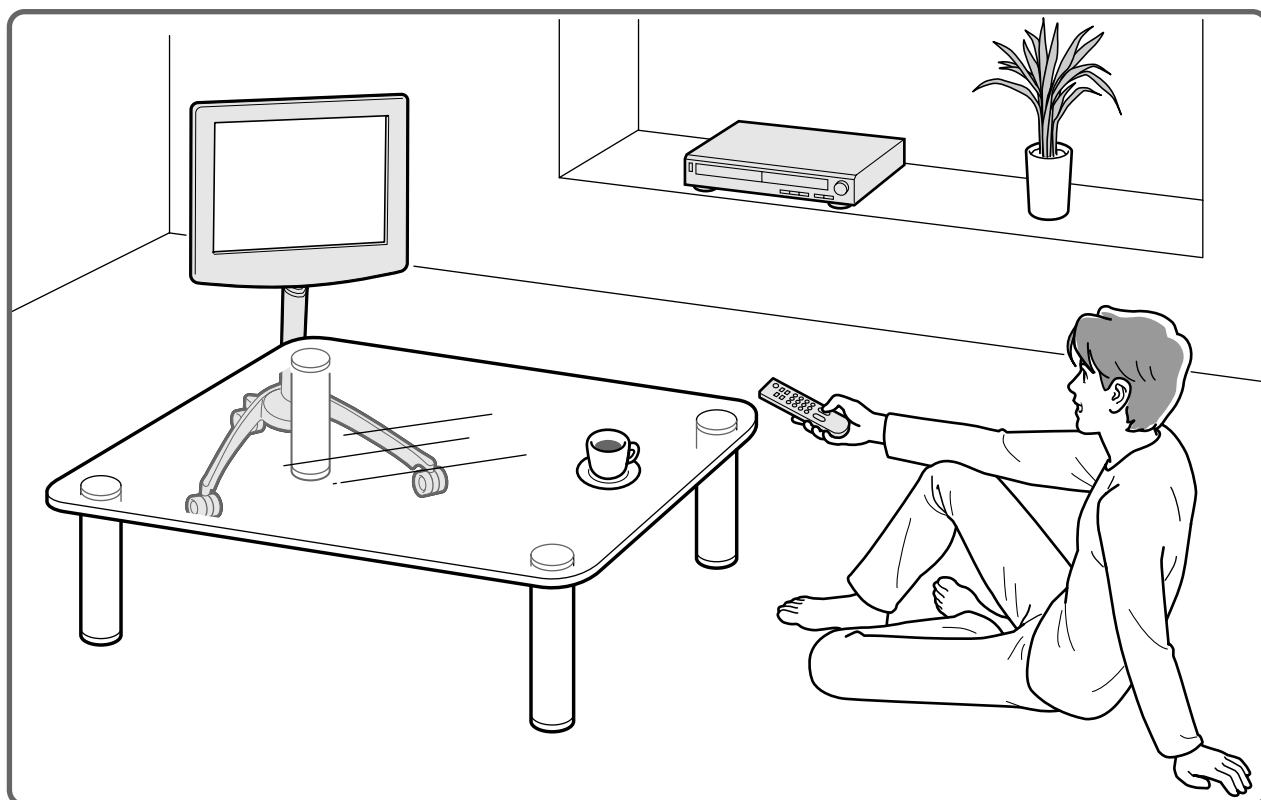
ガラスに強い衝撃を与えない

フロアスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となることがありますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端のとがった物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラスを突いたりしない。
- 収納機器を設置するときに、ガラスの端面にぶつけない。
- 掃除機を床面にすべらせて、ガラスの端面に当てない。
- ガラス台を踏みつけたり、けとばしたりしない。

フロアスタンドの使いかた

据え置きスタンドとして使う

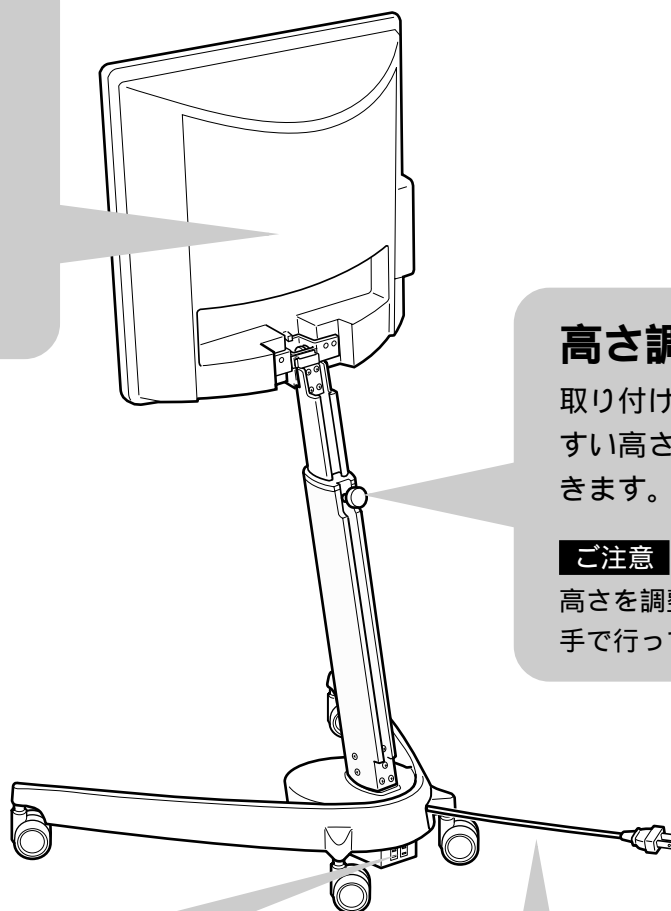
ガラス棚にはビデオやDVDプレーヤー、ゲームを設置することができます。

移動式スタンドとして使う

ガラス棚を付けないときは、省スペーススタンドとして、テーブルコーナーやベッドサイドに設置することができます。

各部のなまえとはたらき

画面チルト機構

取り付けた液晶テレビを見やすい角度に調整することができます。

ご注意

角度を調整するときは、必ず両手で行ってください。

高さ調整機構

取り付けた液晶テレビを見やすい高さに調整することができます。

ご注意

高さを調整するときは、必ず両手で行ってください。

2口コンセント

テレビやビデオの電源プラグを差し込むことができます。

ご注意

- 消費電力が合計150Wを超える電化製品をつながないでください。
- 指定のテレビ以外の外部機器（DVDプレーヤーなど）は、消費電力80W以下の機器を1台のみ接続できます。
- タコ足配線はしないでください。

巻き取り式電源コード

電源コードを3mまで伸ばすことができます。

ご注意

- 電源コードの黄色い印以上、引き出さないでください。
- 電源コードはぴんと張らずに、必ず余裕を持たせた長さまで引き出してつなげてください。その時、コードがロックされ、巻き戻らないことを確認してください。

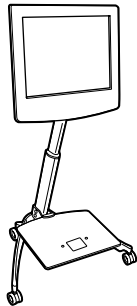
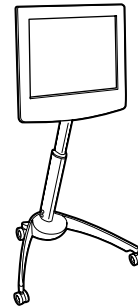
組み立てる

本製品はガラス棚板を取り付けずに使用することもできます。

ガラス棚板を取り付けずに組み立てる場合は、以下の手順を飛ばして組み立ててください。

- 9ページの『手順2：フロアスタンドを組み立てる』の**1**『支柱を横に置き、角度を合わせてガラス台に差し込み、ネジ🅐4本で仮留めする。』
- 9ページの『手順2：フロアスタンドを組み立てる』の**3**『**1**で仮留めしていたネジ🅐4本をしっかり固定する。』
- 13ページの『手順4：フロアスタンドにテレビを取り付ける』の**3**『ガラス棚板をガラス台のヒンジに差し込み、ワッシャーを入れてから、ネジ🅓2本でしっかり固定する。』

完成図

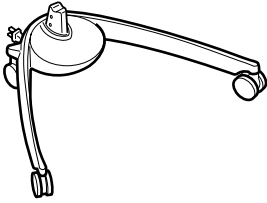
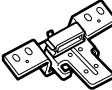
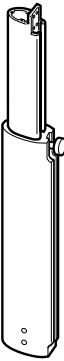
（このイラストはKLV-20SP2を取り付けたときのイラストです。）

ガラス棚板を取り付けた場合

ガラス棚板を取り付けない場合

組み立て時のご注意

⚠注意

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる。

ネジが緩んでいたり、抜けていたりすると、フロアスタンドが傾いて転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する。

フロアスタンドを組み立てるときや、テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意してください。

取り付け手順に従って、テレビをしっかり取り付ける。

ネジを確実に締めてください。テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

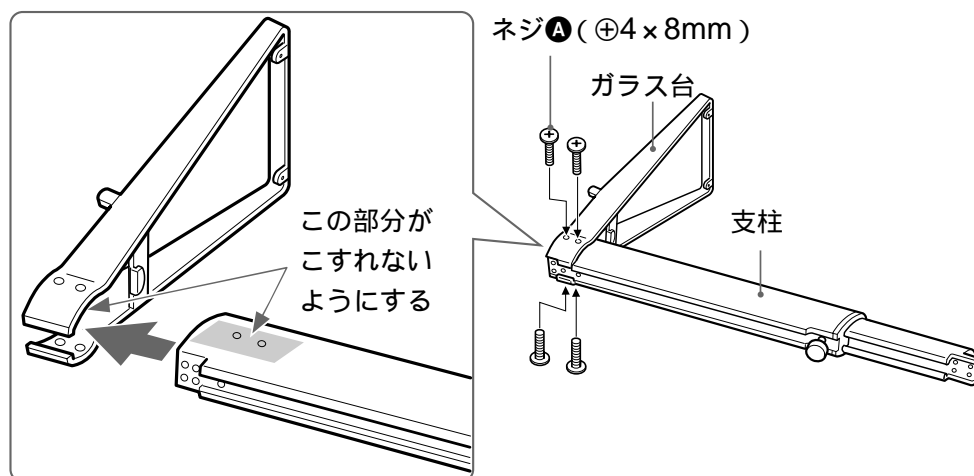
手順1：部品を確かめる

箱を開けたら、部品がそろっているか確かめてください。
組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

<table>
<tr><th>名　称</th><th>数　量</th><th>名　称</th><th>数　量</th><th>名　称</th><th>数　量</th></tr>
<tr><td rowspan="5">台座</td><td rowspan="5">1</td><td rowspan="2">ガラス棚板</td><td rowspan="2">1</td><td>ネジⒶ
⊕4 × 8mm</td><td>4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ネジⒷ
⊕5 × 14mm</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ガラス台</td><td rowspan="3">1</td></tr>
<tr><td>ネジⒸ
⊕4 × 10mm</td><td>4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ネジⒹ
⊕4 × 15mm</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">支柱</td><td rowspan="5">1</td><td rowspan="3">テレビ取り付け金具</td><td rowspan="3">1</td></tr>
<tr><td>ケーブルクリップ</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キャスター皿</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電源コード（1m）</td><td rowspan="2">1</td></tr>
<tr><td>ワッシャー</td><td>2</td></tr>
</table>

手順2：フロアスタンドを組み立てる

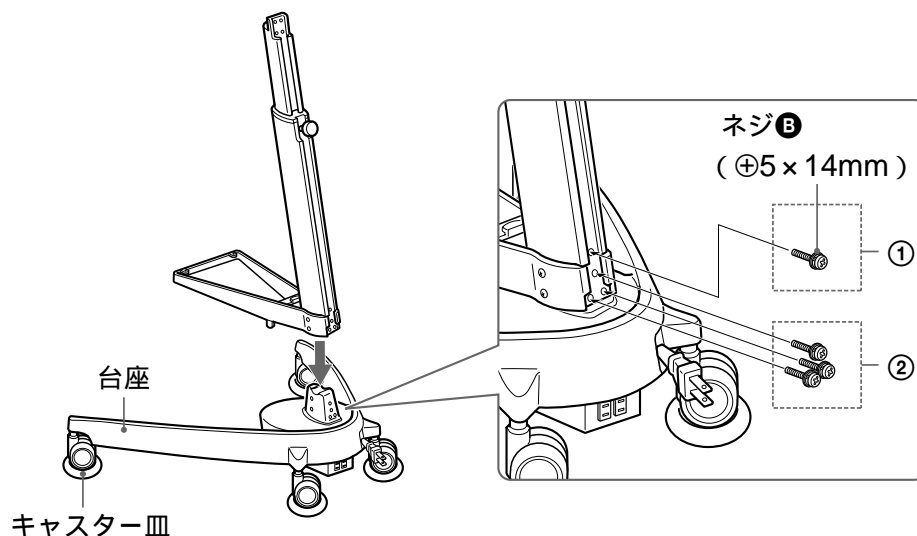
ガラス棚板を取り付けない場合は、**1**『支柱を横に置き、角度を合わせてガラス台に差し込み、ネジ❹4本で仮留めする。』と**3**『**1**で仮留めしていたネジ❹4本をしっかり固定する。』を飛ばして組み立ててください。

1 支柱を横に置き、角度を合わせてガラス台に差し込み、ネジ❹4本で仮留めする。

2 台座に支柱を差し込み、ネジ❸4本でしっかり固定する。

安全のために必ずキャスター皿に台座のキャスターを載せて作業を行ってください。

① 一番上のネジを緩く締める。

② 残りのネジを緩く締める。

③ 全てのネジをしっかり締める。

ご注意

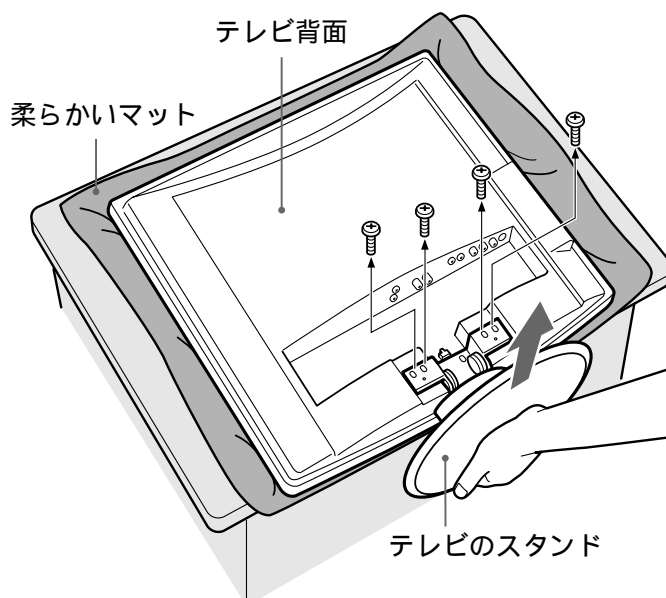
ネジはまず仮留めをしておいて、組み立て終わってから、全てのネジをしっかりと締めてください。

3 1で仮留めしていたネジ❹4本をしっかり固定する。

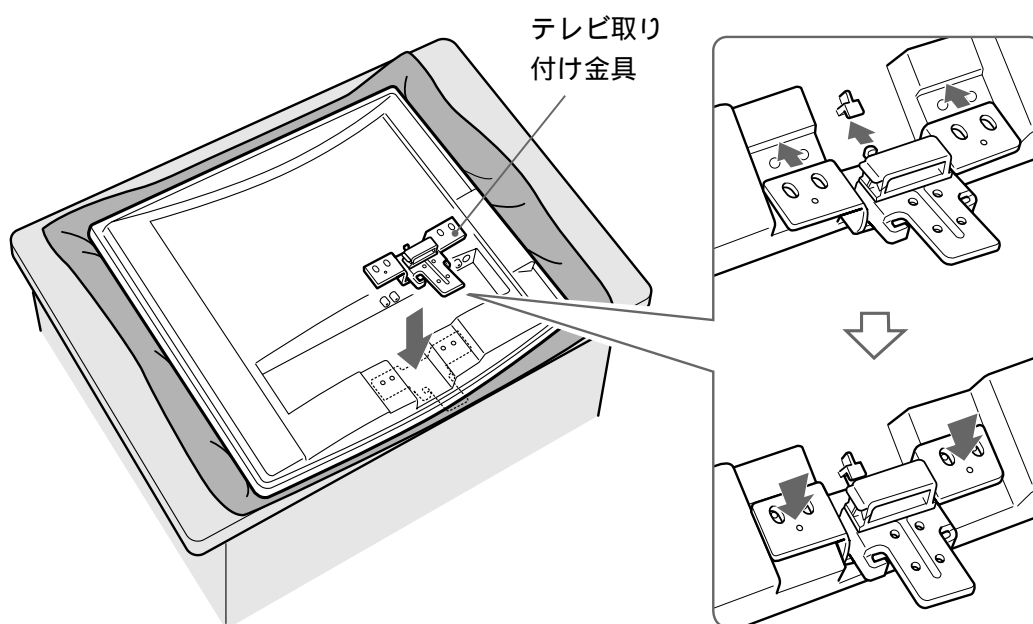
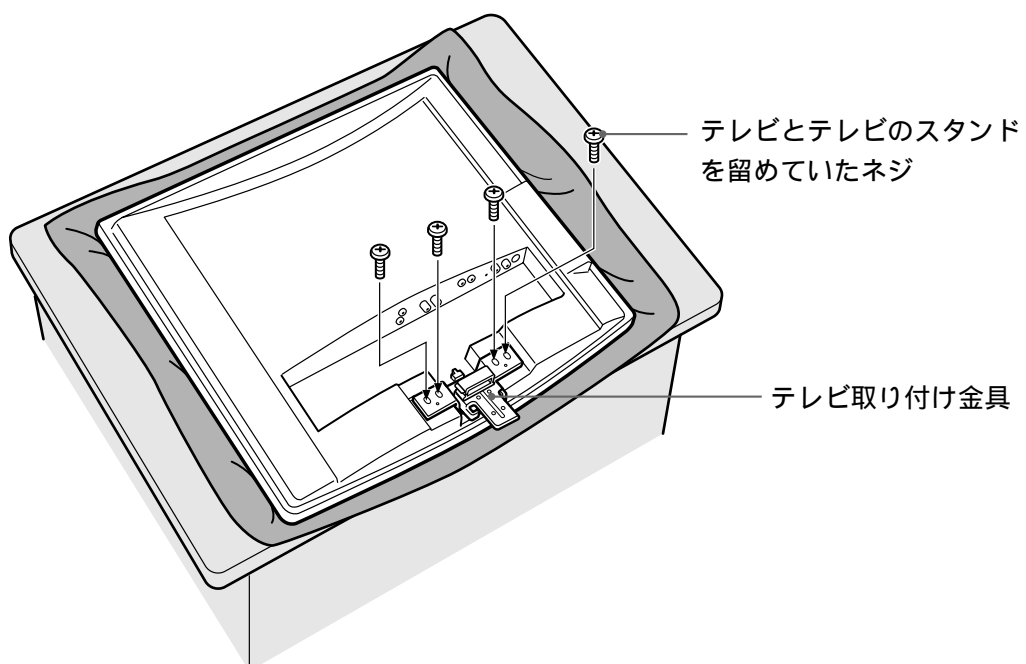
手順3：テレビにテレビ取り付け金具を取り付ける

金具を取り付ける前に、テレビ背面のカバーとテレビにつないでいるケーブル類をすべてはずしてください。
テレビ背面のカバーのはずしかたについて詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
本文中のイラストはKLV-20SP2を例として使っています。

1 テレビとテレビのスタンドを留めていた4本のネジをはずし、テレビからテレビのスタンドをはずす。

テレビの液晶画面を傷つけないように、柔らかいマットなどを下に敷いてください。

ご注意

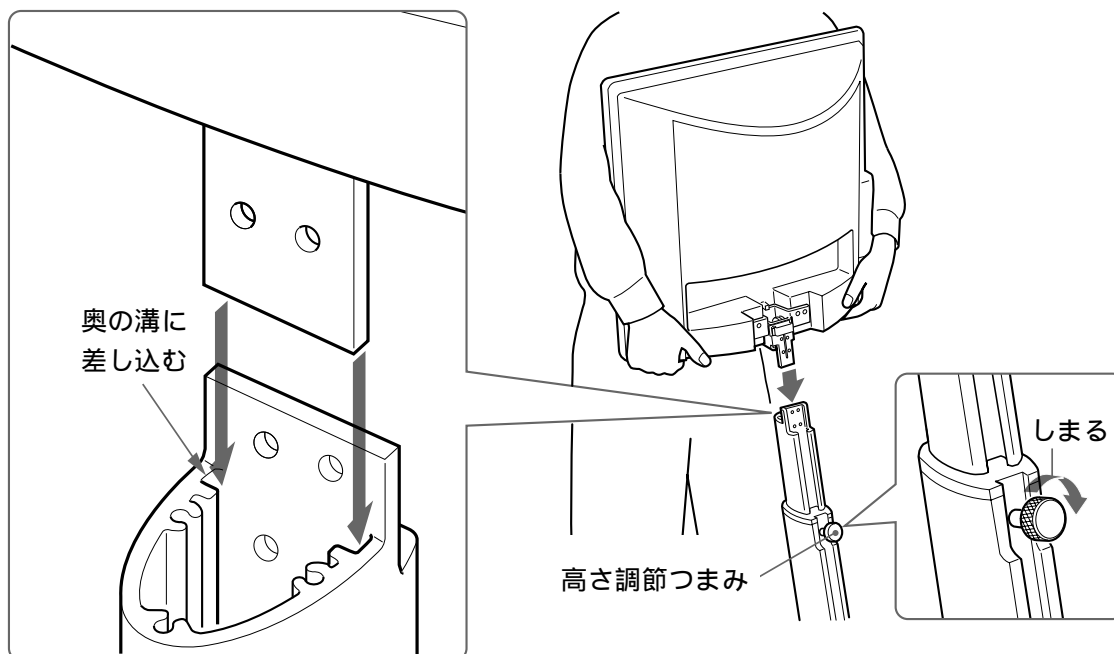
- テレビ本体とテレビのスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。上図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
- テレビのスタンドをはずすときは、テレビのスタンドをしっかり持つようにしてください。

2 下図のようにテレビ背面の溝に合わせて、テレビ取り付け金具を取り付ける。

3 1で取りはずしたネジ4本でしっかり固定する。

手順4：フロアスタンドにテレビを取り付ける

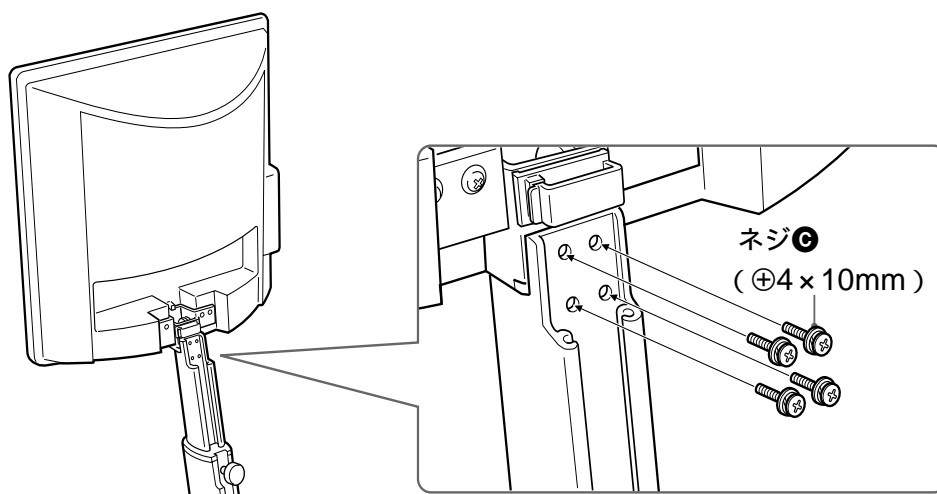
⚠警告

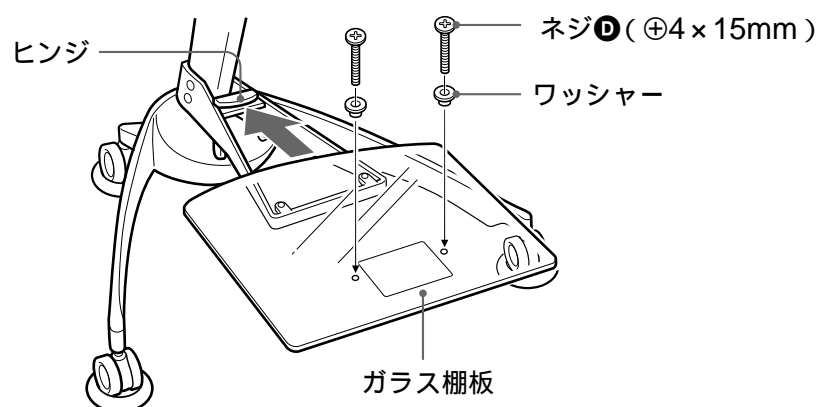
- テレビを取り付けるときは、必ず支柱が伸びきった状態で行ってください。
- テレビを取り付けるまえに、支柱背面の高さ調節つまみがしっかり締まっていることを確かめてください。

1 テレビを支柱に差し込む。

テレビ取り付け金具を支柱上部の差し込み口に、しっかりはまるまで下に押し込んでください。

ご注意

- テレビを取り付けるときは、必ずテレビの両端を両手で持って差し込んでください。
- 支柱と金具のあいだに指を挟まないように注意してください。
- テレビを取り付けるときに、ボタンやベルトのバックルなど固いものが、テレビの画面を傷つけないように注意してください。

2 ネジⒸ4本でしっかり締め、テレビを固定する。

ガラス棚板を取り付けない場合は、14ページの『手順5：テレビにケーブル類を接続する』に進んでください。

3 ガラス棚板をガラス台のヒンジに差し込み、ワッシャーを入れてから、ネジⒹ2本でしっかり固定する。

手順5：テレビにケーブル類を接続する

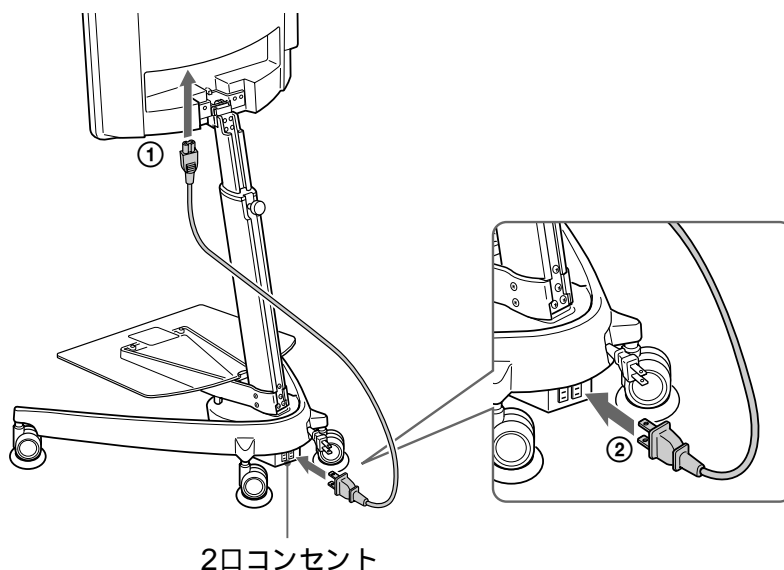
テレビにケーブル類を接続するときは、高さ調整で支柱の長さが変わるため、支柱が伸びきった状態で必ず接続してください。

⚠警告

本製品のコンセントには、ドライヤーなどの消費電力の高い電化製品（指定のテレビと外部機器1台、合計150Wまで）を絶対に接続しないでください。消費電力が合計150Wを超える電化製品を接続すると、火災や故障の原因となることがあります。

1 テレビにケーブル類をつなぐ。

① フロアスタンドに付属の電源コード（1m）をテレビ背面のAC入力（電源入力）端子に差し込む。

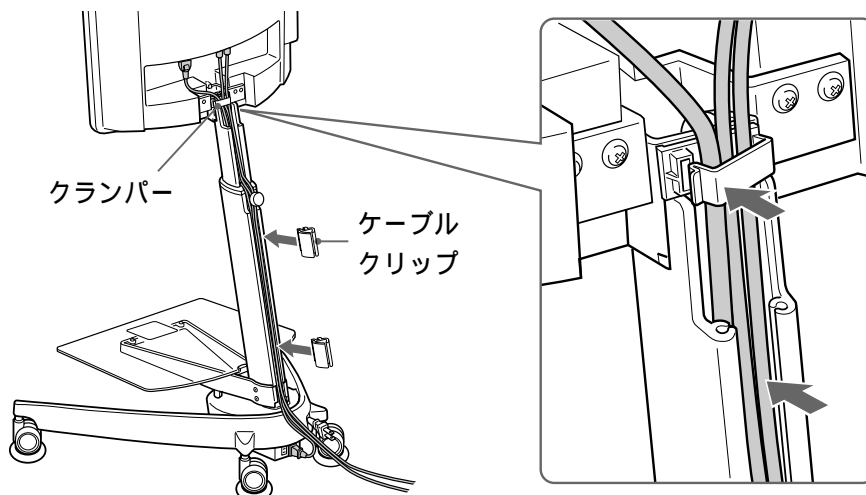
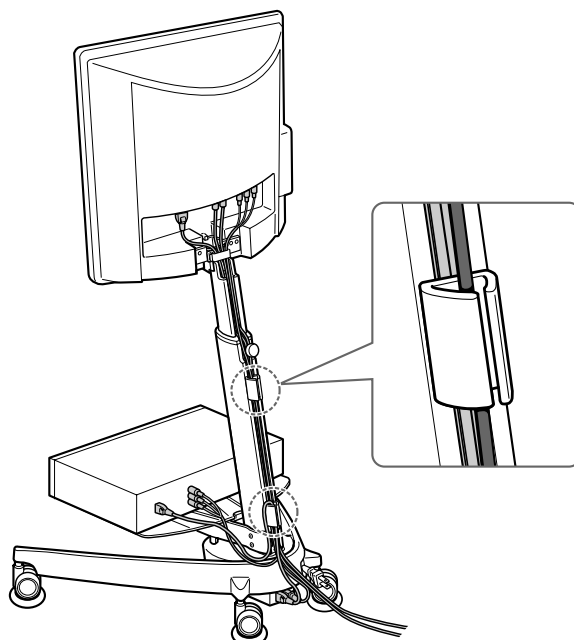
② 付属の電源コードをフロアスタンド下部のコンセントに根元まで確実に差し込む。

③ 接続ケーブルをテレビにつなぐ。

ご注意

- テレビに付属の電源コード（2m）を使わないでください。
- 接続ケーブルのつなぎかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- コンセントに電源コードのプラグを差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。

2 ケーブル類を収納する。

ケーブル類の収納方法は支柱の溝に収納する方法と、ケーブルクリップを使ってまとめる方法の2通りあります。2つの方法をケーブルの量に合わせて使い分け、収納してください。

支柱の溝に収納する方法

ケーブルクリップを使ってまとめる方法

ご注意

- ケーブル類は、かさばらないように一列に束ねてください。
- ビデオなどの外部機器をガラス棚板にのせるときは、外部機器の足がガラス棚板の外にはみださないように注意してください。

3 テレビの背面カバーを取り付ける。

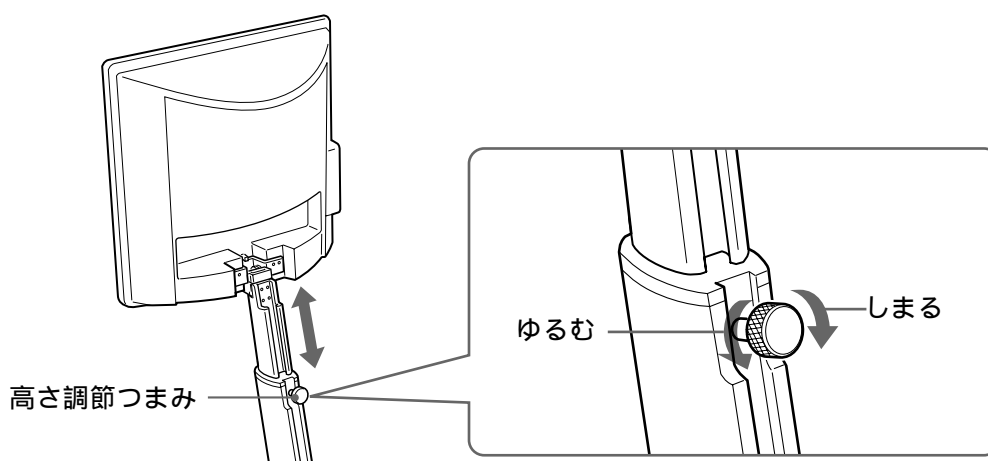
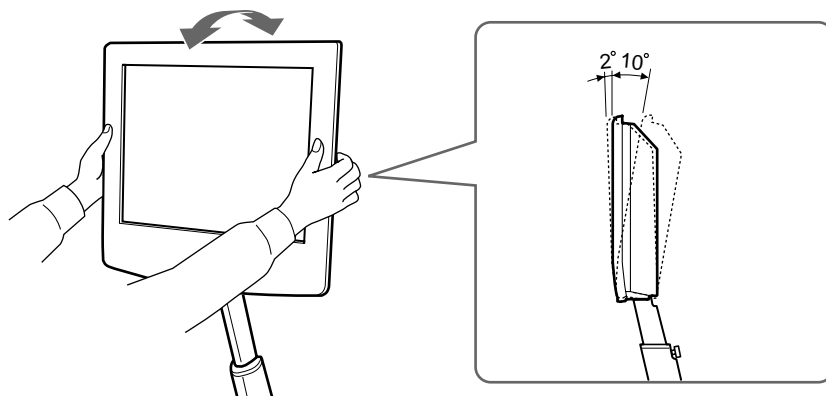
詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 背面カバーは、ケーブル類を挟んでいないことを確認してから取り付けてください。背面カバーにケーブル類を挟むと、ケーブル類が傷つき、火災や故障の原因となることがあります。
- ケーブルが整理されていないとテレビの背面カバーを取り付けられないことがあります。

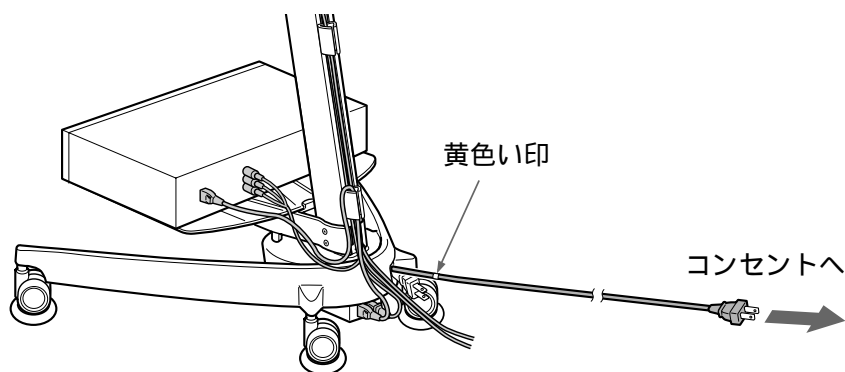
4 テレビを見やすい高さ・角度に調整する。

① 高さ調節つまみを緩めてテレビの高さを調節してください。調節後は高さ調節つまみをしっかりと締めてください。テレビの高さは上下約17cmの範囲で調整できます。

次のページにつづく

② テレビの角度を前後12°の範囲で調節できます。

ご注意

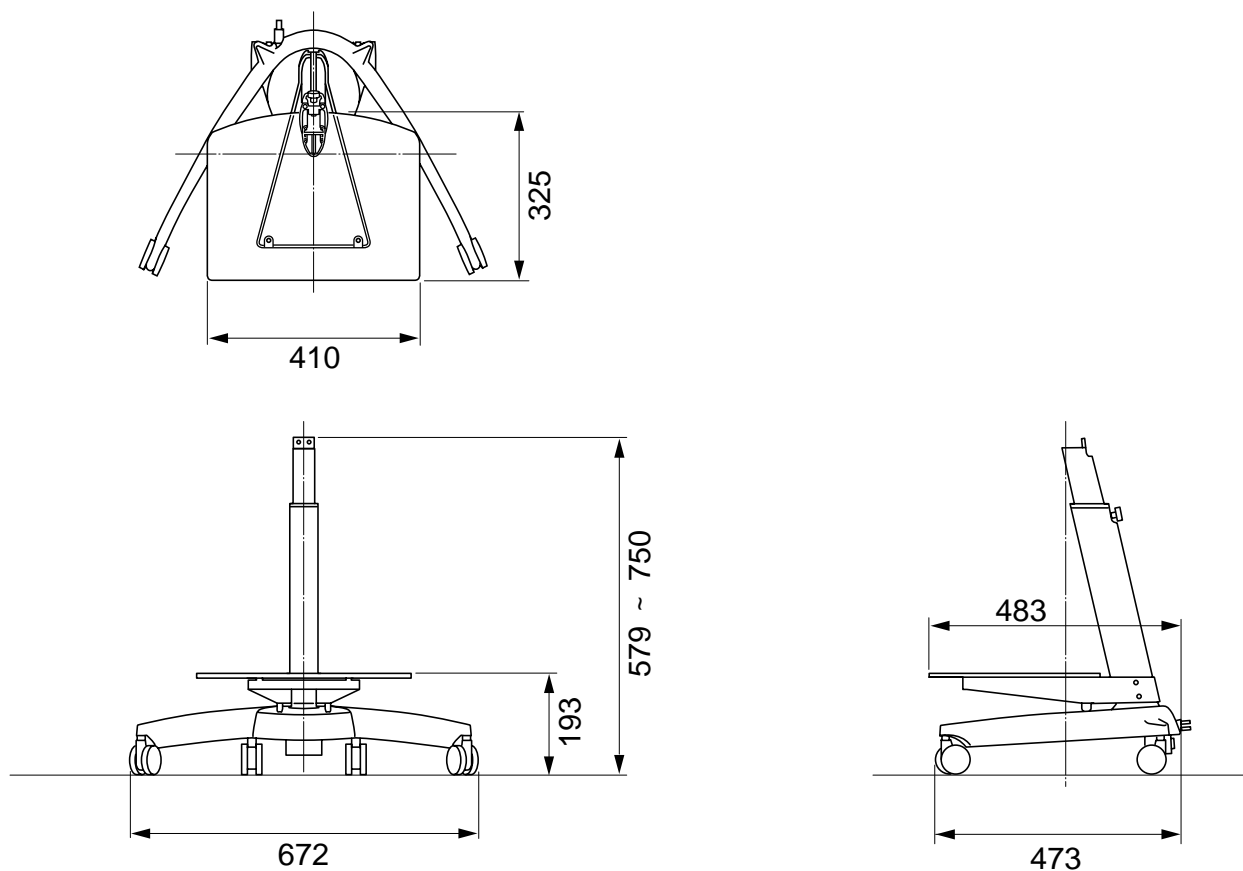
調整するときは、テレビの両端を必ず両手で持って調整してください。

5 巻き取り式電源コードをコンセントに差し込む。

すべての組み立てと、ケーブル類の接続が完了してから、巻き取り式電源コードをコンセントに差し込んでください。

ご注意

巻き取り式電源コードを引き出すときは、床と水平に引き出し、ぴんと張らずに、必ず余裕を持たせた長さまで引き出してつなげてください。その時、コードがロックされ、巻き戻らないことを確認してください。また、コードの黄色い印以上引き出さないでください。

主な仕様

単位: mm
質量: 約9.5kg

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

積載量について

ガラス棚板には、下図に示す重量以上のものを載せないでください。ガラス棚板が壊れたり、スタンドが転倒する恐れがあります。